

長鶴の郷だより

介護老人保健施設 長鶴の郷
広報 第34号 2017・1・1発行



介護老人保健施設 長鶴の郷
〒435-0031 浜松市東区長鶴町290
TEL(053)-423-2700
FAX(053)-423-2711
ホームページ <http://www.nagatsuru.com>

新年あけましておめでとうございます。旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがたく厚くお礼申し上げます。本年も、ご利用者様に寄り添ったより良いケアが出来るように、職員一同より一層尽力してまいりますので、宜しくお願い致します。

平成29年 年頭の挨拶

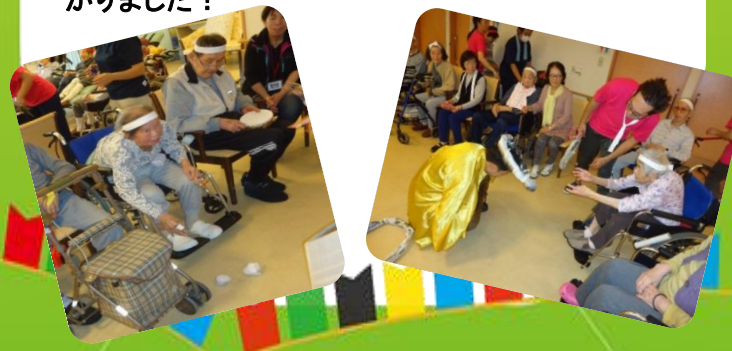
医療法人社団拓己会 理事長 秋英達

今年は酉(とり)年です。
皆様、明けましておめでとうございます。

おはようございます。こんにちは。こんばんは。おやすみなさい。お元気ですか。お久しぶりです。行きます。行ってらっしゃい。ただいま。お帰りなさい。昔から古今東西どの国でも日常生活の中で使われてきた言葉で、特に日本では大変大事にされてきた伝統的な挨拶であると思います。私は今年62才になりますが、小学生の頃、おはようございますと、友人や近所の人に元気よく挨拶をしながら、学校へ通った事を昨日の様に思い出します。朝の挨拶に元気がなければ、近所のおじさんやおばさんが、どうしたの？今日は元気が無いねと心配してくれたり、逆に明るい挨拶だと褒めてくれたりした事も思い出されます。挨拶した本人の精神状態が、挨拶をされた人にも手に取る様に分かり、相手の一日にも大きく影響を及ぼす程、挨拶は大変大事な社会の伝達手段だと思っています。挨拶しなければならない相手に最も大切なのは、起床して一番先に会う家族、次に職場同僚への明るい挨拶で、その朝一番の挨拶が家庭や職場の雰囲気を一左右します。挨拶はそれほど大事な事なのだと思います。三つ子の魂百まで・と言いますが、親が大人が率先して明るい挨拶をする姿勢を示し、良い事を子供達に継承するよう意識し、先ず身近な家庭内で必ず挨拶する事を忘れてはいけないのではないのでしょうか。そんな小さな簡単なルールが今の日本から少しずつ無くなりつつあるように感じるのは私だけでしょうか。人と人との関わり合いで、この世の中は成り立っています。人は一人では生きていけません。明るい挨拶で、より多くの患者さんや御家族の気分をほぐす事を今年の指針とします。介護老人保健施設 長鶴の郷は、浜松中心部や磐田市からのアクセスも良く、また国道1号線や浜松インターへの利便性に優れる場所に位置しています。この利便性も生かし、診療所である 中田島クリニック、グループホームおおよぎ、多機能ホームながつる、が連携し、医療・看護・リハビリ・介護を益々充実させ、御利用者の皆様に末長く愛される施設になるよう 職員一同 精一杯鋭意努力し、より良いサービスを皆様に提供して行きたいと考えています。皆様、今年も宜しくお願い申し上げます。

運動会

運動会では紅白チームにわかれ、輪投げ・ボール送り・玉入れなど行いました。日々の練習成果が出て、接戦になりとても盛り上がりました！



ボランティア

今年も青葉幼稚園の園児たちがボランティアに来てくれました！歌やふれあい遊びでとても楽しい時間を過ごせました。ご利用者様と職員で作ったおもちゃのプレゼントにとっても喜んでくれました。園児たち手作りの素敵なプレゼントもいただきました。



家族会

家族会では施設での防災のお話や普段ご利用者様にやっていたりしているリハビリ体操、むし羊羹作りを行いました。ご家族様、ご利用者様と一緒に楽しんで体験していただきました。



ゲーム大会

11月にはフロア合同によるゲーム大会を行いました。エントリー制の将棋やばば抜きを行い各テーブルで熱戦が繰り広げられました。勝ち抜いた勝者の方には、表彰状が贈られました。



日常風景

習字のレクリエーションではみなさん真剣な表情で字を書いています。12月には、ご利用者様と一緒にクリスマスツリーの飾りつけも行いました。飾りながら昔の話を懐かしそうに話してくださいました！



